

■調査目的 動植物や湧水、照度、土壌等の現況を把握し、稲荷山公園整備計画立案および維持管理の基礎資料とするため

■調査項目 カタクリ株数、植生、照度、動植物相、毎木調査および健全度判定、湧水、地温・土壌水分量等

■調査結果

(1) カタクリの株数

【調査内容】

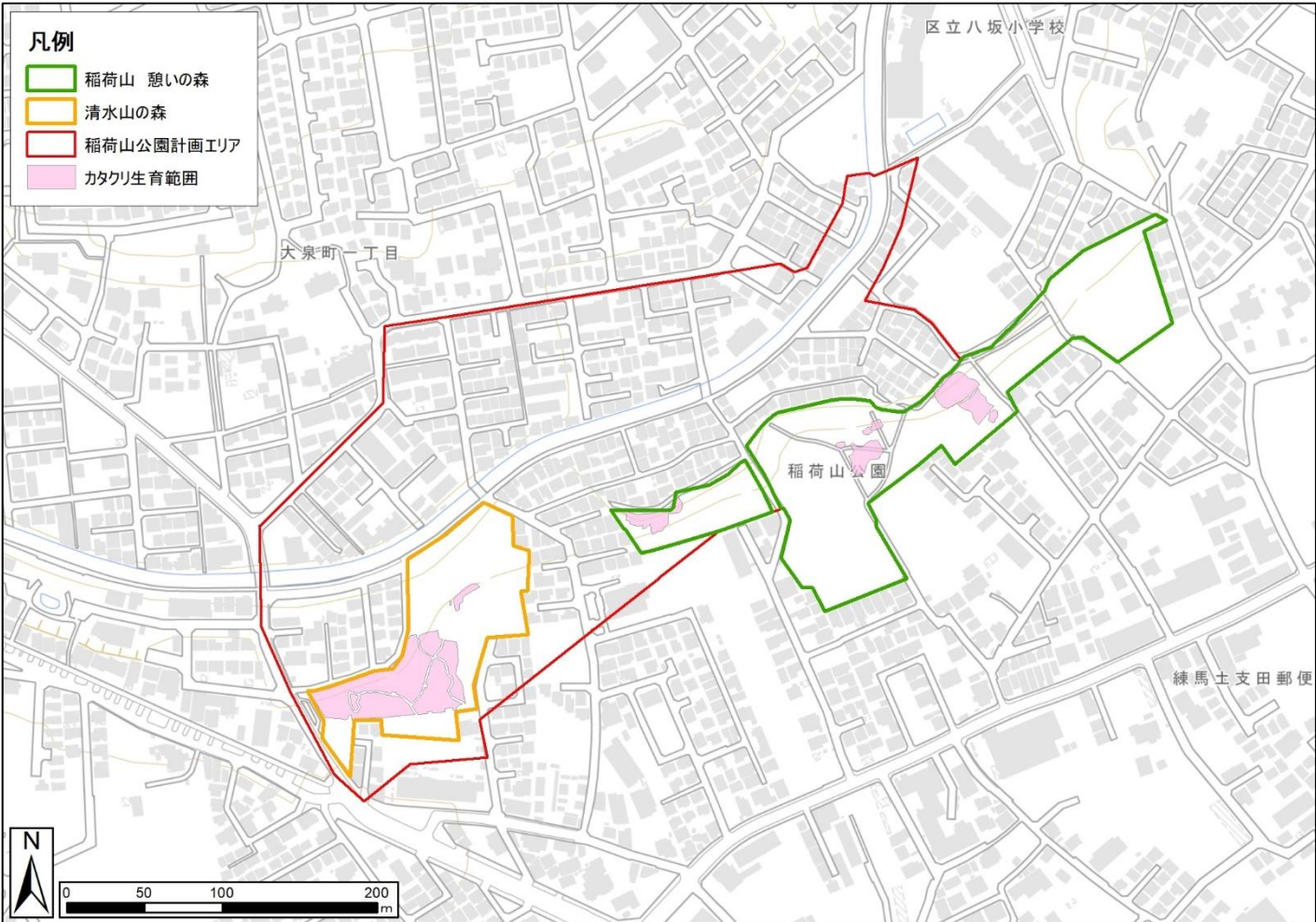
- ・生育範囲の代表的な箇所を設置された方形区（1m×1m）で株数を計数（<方形区数>清水山の森：35か所、稲荷山憩いの森：32か所）
- ・生育範囲の面積を乗ずることで、株数を推定

【結果概要】

- ・清水山の森、稲荷山憩いの森ともに、株数が増加

表 カタクリ推定株数

項目		清水山の森	稲荷山憩いの森
カタクリ株数調査 (推定株数)	R6年度	約114,000株	約36,000株
	H30年度	—	約30,000株
	H25年度	約108,000株	—



(2) 相対照度

【調査内容】

- ・生育範囲と林外の日照が遮られない場所で年2回（早春季、夏季）実施
- ・照度を測定し、相対照度を計算

【結果概要】

- 清水山の森
 - ・早春季は、冬季のササ刈りの高さが30cmの箇所は38.9%、1～2cmの箇所は37.6%であり、差は僅か
 - ・夏季は、冬季のササ刈りの高さが30cmの箇所では草丈が50cmになり、相対照度は0.2%、冬季のササ刈りの高さが1～2cmの箇所では草丈は20～30cm程度となり、相対照度は0.5～15.7%と低い値であった。
- 稲荷山憩いの森
 - ・早春季は、冬季ササ刈り未実施箇所で5.5～11.8%と低く、林縁部の箇所では60%台と高い
 - ・夏季は、冬季ササ刈り未実施箇所では調査時の草丈が100cmになり、相対照度も0.6～3.6%と低く、草丈が低い箇所でも相対照度が0.5～5.8%となり、全体的に低い

(3) 地温・土壌水分

【調査内容】

- ・生育範囲の表層（深さ1cm）と地中（深さ15cm）の地温を年2回（5月、土壌水分:8月、地温:9月）測定
- ・地表から深さ2cm程度までの表層土を採取し、土壌水分（含水率）を測定

【結果概要】

- 地温
 - <清水山の森>初夏の表層で21.8～23.1℃、地中で19.3～20.5℃、夏季の表層は25.5～27.3℃、地中で25.3～26.5℃となり地中でも夏季は上昇
 - <稲荷山憩いの森>清水山の森と同様の傾向
- 土壌水分
 - <清水山の森>初夏と夏季ともに40%前後であり、大きな差はなし
 - <稲荷山憩いの森>初夏は、冬季ササ刈り未実施箇所では49.6～52.6%、ササ刈り実施箇所では41.3～46.4%であり、ササが高い場所での含水率が高く、夏季も初夏と同様の傾向

令和6年度における清水山の森および稲荷山憩いの森自然環境調査について

(4) 植物相、動物相調査

【調査内容】

- ・植物は、年5回（早春季、春季、初夏季、夏季、秋季）実施
- ・昆虫類、クモ類、哺乳類、爬虫類、両生類は年3回（春季、夏季、秋季）実施
- ・水生生物（水生動物）は年1回（秋季）実施

【結果概要】

- ・都市部の公園の樹林や緑地に生息・生育する種が、多く確認された。
- ・水域を主要な生息・生育環境とする種が確認された。

表 動植物確認数・重要種数

R7年3月現在

項目		清水山の森		稲荷山憩いの森	
		確認種	重要種	確認種	重要種
植物		330種	10種	297種	8種
動物	哺乳類	4種	1種	4種	1種
	鳥類	31種	9種	24種	4種
	両生類	—	—	—	—
	爬虫類	4種	4種	4種	4種
	昆虫類	282種	6種	284種	5種
	クモ類	59種	2種	64種	2種
	水生生物	15種	1種	5種	—

(5) 毎木・健全度判定

【調査内容】

- ・幹周が15cm以上の樹木の樹種、樹高、幹周、葉張りを測定
- ・「活力状況」「欠陥」の評価結果に基づき、健全度を5段階で評価
活力状況・・・樹勢を5段階で評価
欠陥・・・国土交通省発行の「街路樹の倒伏対策の手引き」を参考に評価

【結果概要】

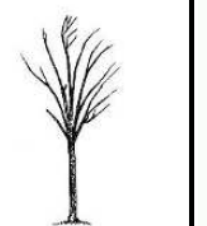
●清水山の森

- 毎木調査：54種 518本の樹木を確認
- 健全度判定：509本（萌芽株除く）を確認
健全度1～3の樹木：91%
健全度4、5の樹木：9%（樹種や生育位置による偏りは確認されず）

●稲荷山憩いの森

- 毎木調査：60種 1,494本の樹木（萌芽株を含む）を確認
- 健全度判定：1443本（萌芽株除く）を確認
健全度1～3の樹木：90%
健全度4、5の樹木：10%（ソメイヨシノの衰弱やクズの繁茂による健全度の悪化が確認された）

表 活力状況（樹勢）の項目（健全度を評価するうえでの指標の1つ）

診断項目	活力度				
	1	2	3	4	5
					
樹勢	旺盛な生育状態を示し、被害が全く見られない	いくぶん被害の影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が劣悪で回復の見込みが低い	ほぼ枯死している

※東京都建設局（2021）：令和3年度 街路樹診断等マニュアル、東京都、より引用

(6) 湧水調査

【調査内容】

- ・環境基準の適否確認のため、湧水量、水温、透視度、臭気、水質（pH、BOD、COD等）を確認

【結果概要】

●清水山の森

- ・湧水量：降水量の少ない渇水期（冬季）に、令和6年1月は36.7 L/min、令和7年1月は41.0L/min
- ・水温・透明度・臭気：水温は18℃前後で1年を通してほぼ一定、透明度は各季とも100 度以上、臭気は無臭
- ・水質：全ての項目で排水基準値を満足（pH値は6.5、亜鉛は0.2mg/L、窒素含有量（全窒素）は7.97mg/L、リン含有量（全リン）は0.007 mg/L）

●稲荷山憩いの森

- ・湧水量：降水量の少ない渇水期（冬季）に、令和6 年1 月は70.5L/min、令和7 年1月は102.5L/min
- ・水温・透明度・臭気：水温は16～18℃前後、透明度は各季とも100 度以上、臭気は無臭
- ・水質：全ての項目で排水基準値を満足（pH 値は7.2、SS は1mg/L、窒素含有量は8.21mg/L、リン含有量は0.014 mg/L）